

お お ぶ
大府市バイオマス産業都市構想の概要
愛知県大府市、人口 87,836人、面積 3,368ha

14

構想の概要

知多地区(5市5町)において、生ごみバイオガス発電施設を拠点に、他の諸施設との有機的連携により、バイオマス資源とエネルギーを地産地消する「都市近郊型バイオマス・新エネルギー利活用ネットワーク」の構築を目指す。

1. 将来像

- ①「みんな輝き 幸せを感じる 健康都市」
- ②市民力：バイオマス資源の分別等を通じた市民協働意識の向上
- ③地域力：バイオマス資源の循環高度利用による持続可能な成長
- ④都市力：クリーンエネルギー供給による都市環境の向上

3. 目標(10年後)

【平成35年度の目標】

- ①バイオマス利用率の目標：
 - ・事業系生ごみ1,825t/年、50%
 - ・産廃系生ごみ16,250t/年、37%
 - ・農業集落排水汚泥175t/年、100%
 - ・し尿等7,300t/年、40%
- ②再生可能エネルギー調達量
5,000MWh/年(1250世帯分)
- ③温室効果ガス削減量
2,261t-CO₂/年

5. 実施体制

ONPO法人知多ABCネット(愛知県、知多5市5町、名大、豊橋技大等がメンバー)

2. 事業化プロジェクト

- ①生ごみバイオガス発電施設の整備(処理量70t/日、発電量1.5万Kwh/日)
 - ・食品廃棄物、し尿等からのバイオガス発電(FITで売電)
 - ・メタン発酵堆肥の園芸肥料販売
 - ・乾燥汚泥は燃料利用
- ②知多地区におけるバイオマス・新エネルギー利活用ネットワークの構築(愛知県、知多5市5町、名大、豊橋技大等)

4. 地域波及効果

【バイオガス発電施設の波及効果】

- ①再生可能エネルギーの生産 5,000MWh/年(重油換算34万L)
- ②温室効果ガス削減 2,261t-CO₂/年
- ③農業の付加価値創出・競争力向上(肥料・燃料利用、「げんきの郷」でのトマト等の直売等)
- ④廃棄物処理から資源利用へ
廃棄物施設の整備費 4.5億円、運営費 37百万円/年の削減
- ⑤食品廃棄物焼却処分量の削減 16,250t/年、温室効果ガス削減 900t-CO₂/年

6. その他

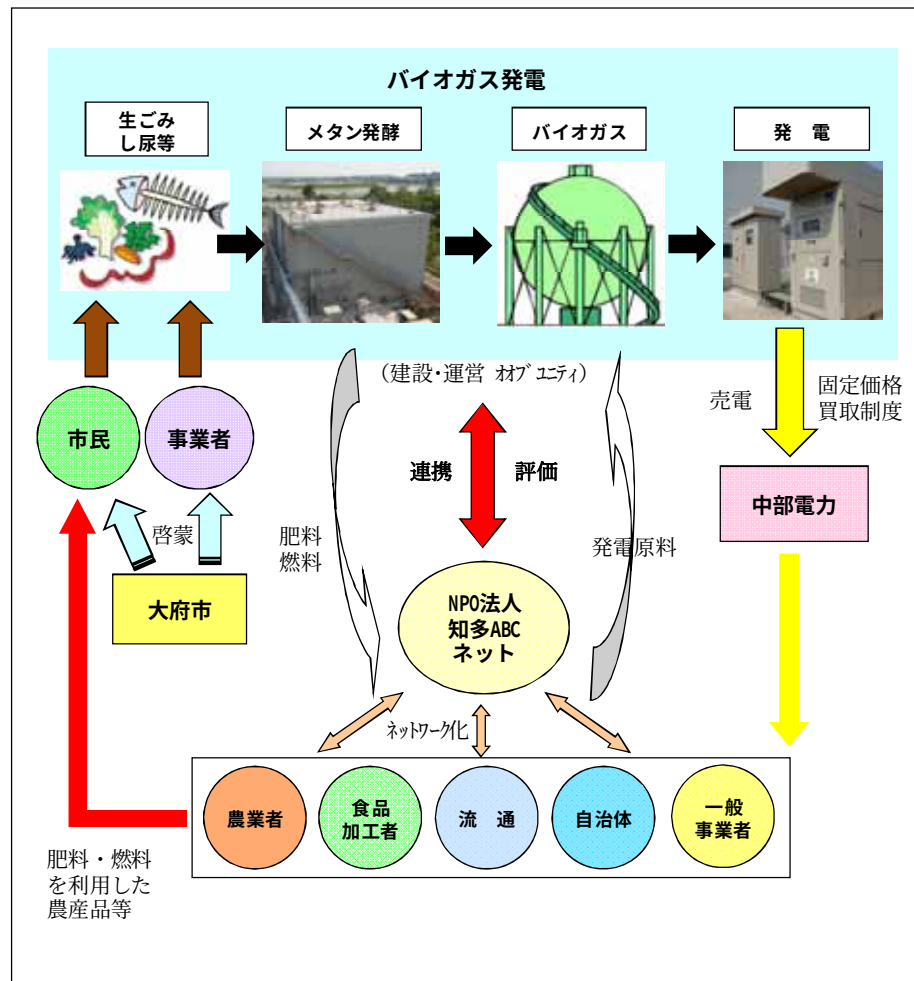
- ・おおぶ「農」活性化プラン(H21.2)
- ・第2次環境基本計画(H23.3)
- ・一般廃棄物処理基本計画(H23.10)

大府市バイオマス産業都市構想の概略

本市において未利用となっている生ごみを利用し、バイオガス発電を行い、将来的には地域の既存・計画中の諸施設と有機的に連携することで、バイオマス資源とエネルギーを地産地消するネットワークの構築を目指します。

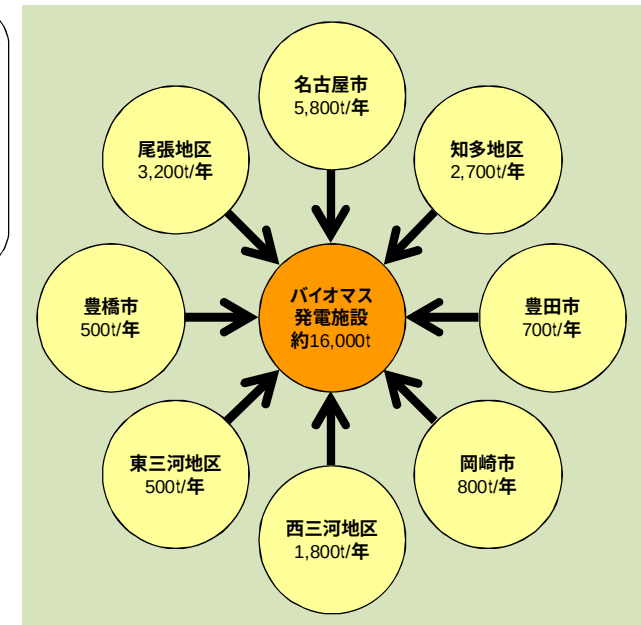
事業概要・施設整備概要（P14～18）

バイオガス発電により、一般家庭1,250世帯相当分の電気を生み出します。また、メタン発酵堆肥や乾燥汚泥燃料の地域利用に取り組みます。



隣接地域の焼却処分量減少への貢献（P24）

発電の原料となる生ごみ、食品廃棄物は、本市を中心に、愛知県全域からの搬入を予定しています。平成35年度には、16,250 t／年を収集する予定です。



他の地域計画との有機的連携（P29～30）

愛知県及び知多地区においては、バイオマスに関連した各種計画が立案・検討されています。本構想は最終的に、知多地区で実施・計画中のバイオマス関連事業と連携を図り、相互・補完関係構築を目指すものです。

